

トヨタ紡織、「人とくるまのテクノロジー展2019」に出展

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：沼 毅）は、5月22日（水）から24日（金）にパシフィコ横浜（神奈川県横浜市）で開催される自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展2019」に出展します。

トヨタ紡織は、「世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社」として、“QUALITY OF TIME AND SPACE” –より上質な時間や空間の提供を目指しています。今回の人とくるまのテクノロジー展では、自動運転を想定した製品・技術をはじめ、より快適な移動空間を実現するシートや内装品、独自のコア技術を活用して開発したリチウムイオン電池などの次世代自動車関連部品、環境技術を紹介します。

1. 主な展示品

1) 自動運転への対応【国内初出展】

シートが乗員の生体情報を検知し、感情を推定して、状態に応じて音や光で快適を提供する技術を紹介

2) 快適な移動空間の実現

- ①LEXUS にふさわしい高級感のあるデザインと高い乗り心地を実現し、極上のくつろぎを追求した LEXUS LS 搭載シート
- ②身体全体をバランスよく支えるホールド性能とソフトな触感を、独自の技術で実現したトヨタ紡織オリジナルのスポーツシート（トヨタ MARK X GRMN 搭載）
- ③除塵、脱臭、抗菌機能に優れた高機能クリーンエアフィルター

3) 次世代自動車への対応

- ①リチウムイオン電池
- ②ハイブリッドシステム用モーターコア構成部品
- ③燃料電池構成部品セパレーター（燃料電池車 MIRAI 搭載）

4) 環境技術

- ①高耐衝撃軽量発泡ドアトリム（トヨタ クラウン搭載）

2. 出展場所 ブース番号：370

以上